



# 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

COMPANY PROFILE

## President's message

## ご挨拶



取締役社長 兼 CEO 小林 真

平素より、三菱UFJモルガン・スタンレー証券をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、三菱UFJフィナンシャル・グループとモルガン・スタンレーとのジョイントベンチャーとして2010年5月に発足しました。弊社はこれまで、三菱UFJフィナンシャル・グループ各社が有する多様なサービスと、モルガン・スタンレーがグローバルに有する投資銀行やウェルスマネジメント分野における卓越した知見やノウハウにより、実績を積み重ねてまいりました。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、2024年度より新たな中期経営計画をスタートさせました。めざす姿は、『クオリティNo.1・お客さま満足度No.1』の証券会社とし、お客さまをはじめとするすべての

ステークホルダーからの強固な信頼を獲得し、社会からリスペクトされる存在を展望します。また、スローガンとして『Challenge For Better Tomorrow』を掲げました。社員一人ひとりの日々の挑戦の積み重ねにより、お客さまや社会、そして社員にとって今日よりも良い明日、さらに明日よりも良い明後日を創っていく。その結果として弊社のビジネスも着実にスケールアップし、高い目標へ到達するという思いを込めています。

引き続き、三菱UFJフィナンシャル・グループのグループ力と、モルガン・スタンレーとのジョイントベンチャーである強みを活かし、グローバルで多角的な視点と高いクオリティを兼ね備えた金融のプロフェッショナルとして、個人・法人のお客さまはもとより機関投資家のお客さまにも幅広くご満足いただけるように最適な

ソリューションを提供してまいります。加えて、弊社は持続可能な社会の実現に貢献するためのESG経営をこれまで以上に推進いたします。弊社自身のESG経営推進はもとより、お客さまがESG課題に直面した際に「ESGといえばMUMSS\*」と想起され、ファーストコールをいただける証券会社をめざし、役職員一人ひとりがプロとしての専門性を磨きこみ、変革へのチャレンジを続けてまいります。

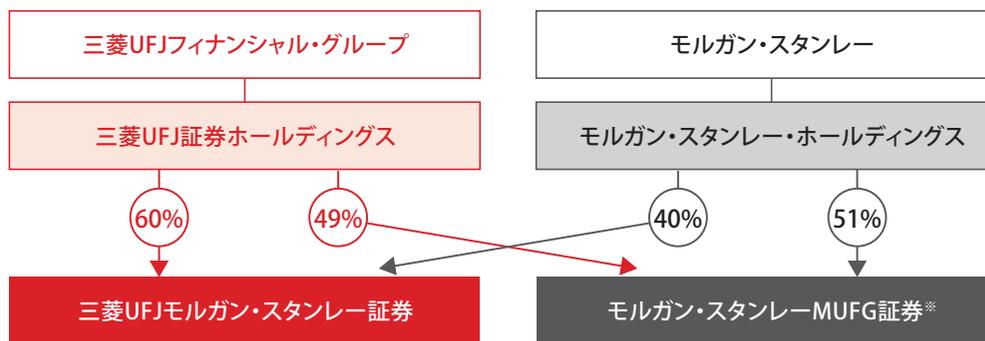
お客さま、社会、次世代、社員にとってより良い明日の実現に向けて全社一丸となってMUFGグループのパーパス(存在意義)である「世界が進むチカラになる。」を実現してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 会社概要

会社名	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd.
本店・本社所在地	〒100-8127 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
電話	03-6213-8500(代表)
URL	www.sc.mufg.jp www.mumss.com
代表者	取締役社長 兼 CEO 小林 真
創業年月日	1948年3月4日
資本金	40,500(百万円)
決算期	3月
従業員数	5,681名(2024年3月31日現在)
長期格付	AA [格付投資情報センター] AA [日本格付研究所] A1 [ムーディーズ] A [S&P] A- [Fitch](各格付は2024年8月1日現在)
国内営業拠点数	24本支店、37ブロック(2024年8月1日現在)

主な役員等 (2024年8月1日現在)	取締役会長	田村 浩四郎
	副会長	荒木 三郎
	副会長	谷口 宗哉(西日本駐在)
	取締役社長 兼 CEO	小林 真
	取締役 副社長執行役員	浜田 直之(ウェルズ&ミドルマーケット本部長)
	取締役 副社長執行役員	別所 賢作(投資銀行本部長)
	取締役 副社長執行役員	兼松 政司(市場商品本部長)
	副社長執行役員	桑原 昌宏(法人本部長)
資本構成	三菱UFJフィナンシャル・グループ60%、モルガン・スタンレー40%	



※モルガン・スタンレーMUFJ証券の議決権比率は三菱UFJ証券ホールディングスが49%、モルガン・スタンレー・ホールディングスが51%ですが、利益配当請求権等の経済的持分は三菱UFJ証券ホールディングスが60%、モルガン・スタンレー・ホールディングスが40%を有します。

# 企業活動の指針

## MUFG Wayについて

MUFG Wayは、MUFGグループが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とするものです。経営戦略や経営計画の策定など、経営の意思決定のよりどころとし、また、全役職員の精神的支柱として、諸活動の基本方針とします。

### Purpose (存在意義)

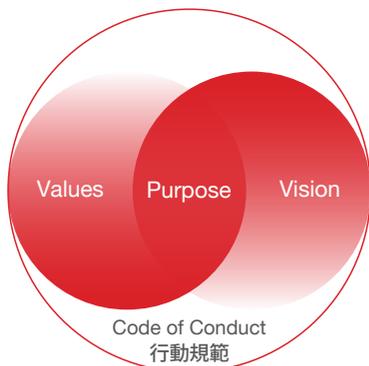
世界が進むチカラになる。

### Values (共有すべき価値観)

- 1.「信頼・信用」
- 2.「プロフェッショナリズムとチームワーク」
- 3.「挑戦とスピード」

### Vision (中長期的にめざす姿)

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ



MUFGグループのすべての活動の指針となるMUFG Wayをもとに、私たちの企業活動において羅針盤にしているメッセージです。

## Challenge For Better Tomorrow

弊社が中期経営計画において掲げているスローガンです。

一人ひとりの日々の挑戦の積み重ねにより、お客さま・社会、そして社員にとって

今日よりもよりよい明日をめざしていくことで、よりよい未来を築いていくという強い想いを込めています。

## 「5つの行動指針」

MUFG WayのPurpose(パーパス)とめざす姿の実現に向けて、

全ての役職員が行動する上で大切にしている価値観をまとめたものが「5つの行動指針」であり、私たちのプロフェッショナルとしてのあり方を示しています。

Put Client First

**プロとして、お客さまと向き合う。**

お客さまに寄り添い、卓越したアイデアで臨みます。

Do the Right Thing

**プロとして、正しくある。**

自身の行動が、お客さまの人生を左右することを心に刻みます。

Drive to Achieve

**プロとして、やり抜く。**

妥協を許さず、熱意を持って高みをめざし続けます。

Respect Each Other

**プロとして、高め合う。**

互いの尊重を大切にし、高め合える関係を築きます。

Be Innovative

**プロとして、常に挑む。**

社会の変化に、挑み続けることを称えます。

## 弊社の強み

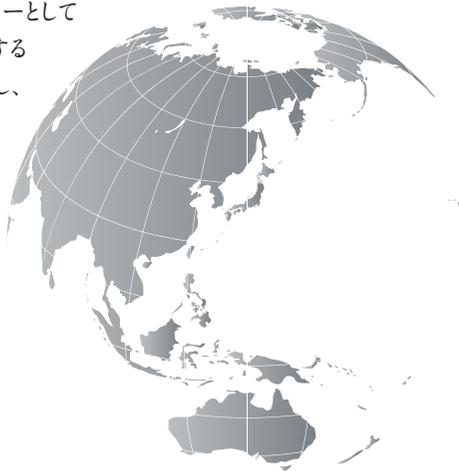
三菱UFJフィナンシャル・グループとモルガン・スタンレー。両社が誇る世界規模のネットワークと豊かなノウハウで、お客さまのあらゆる金融ニーズにお応えします。

### モルガン・スタンレーのグローバル・リーチをお客さまのさらなる力に

MUFGとモルガン・スタンレーとのジョイント・ベンチャーとして2010年5月に発足以来、モルガン・スタンレーの有するグローバル・リーチや卓越した商品サービスを活かし、投資銀行業務で着実に成果を積み上げています。

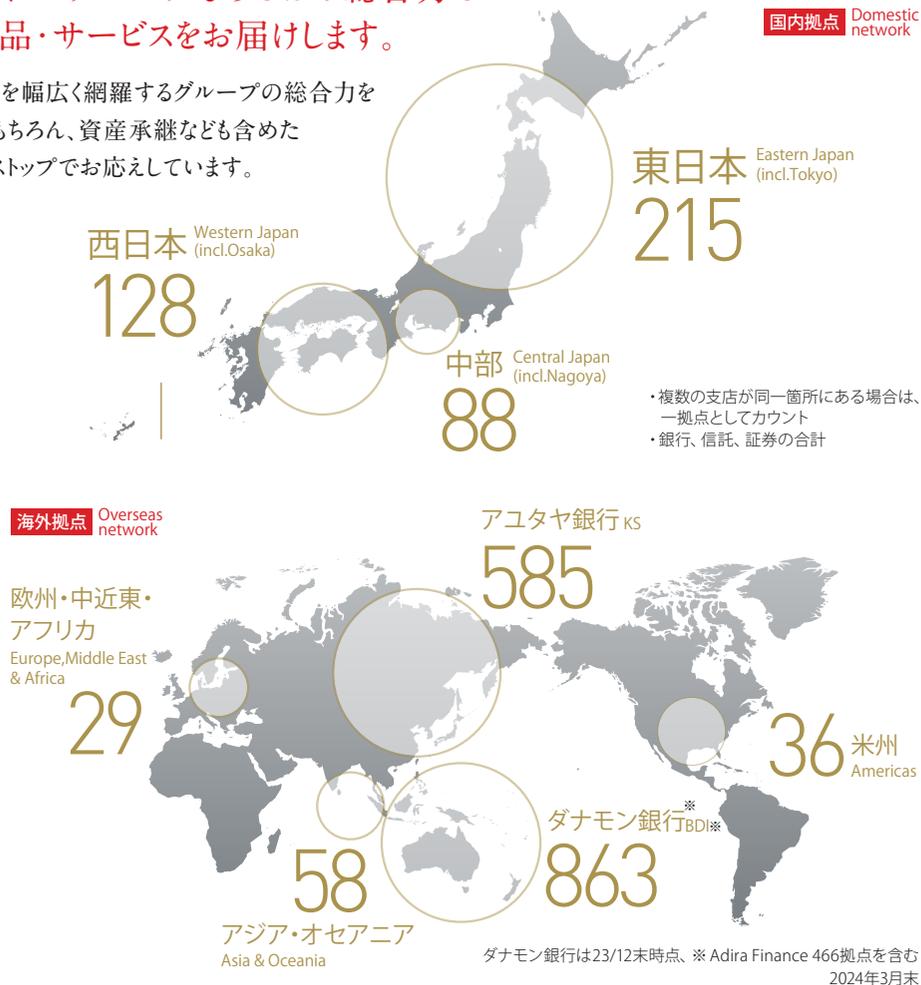
モルガン・スタンレーの  
グローバル・ネットワーク

世界  
**42**カ国



三菱UFJフィナンシャル・グループならではの総合力で柔軟かつ多様な商品・サービスをお届けします。

多様な金融商品やサービスを幅広く網羅するグループの総合力を柔軟に活かし、資産運用はもちろん、資産承継なども含めたさまざまな金融ニーズにワンストップでお応えしています。



# 数々のアワードで認められたノウハウとスキル

三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、ノウハウとスキルを結集し、お客さまに最適なソリューションをご提供。各方面から高い評価とご満足をいただいています。



 <p>長期格付(日本格付研究所) *1</p> <h1>AA</h1>	 <p>日本国債の落札総額(2023年度) *2</p> <h1>1位</h1>	 <p>国内機関投資家向け 円債トレーディングシェア *3</p> <h1>1位</h1>	 <p>M&amp;Aアドバイザー *4</p> <h1>1位</h1>	
 <p>債券(国内債+外債)総合シェア *5</p> <h1>2位</h1>	 <p>国内外エクイティ総合シェア *6</p> <h1>4位</h1>	 <p>債券・為替アナリスト エコノミストランキング会社別 *7</p> <h1>5位</h1>		
 <p>The Good Market Makers *8</p> <h1>受賞</h1>	 <p>Best Investment Bank *9 Best Bank for ESG</p> <h1>受賞</h1>	 <p>HDI-Japan主催 「格付けベンチマーク2023年 【証券業界】」 *10</p> <p>HDI 三つ星</p>	 <p>第5回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン (環境大臣賞) *11</p>	 <p>DX認定 *12</p>

\*1 2024年8月1日現在 \*2 出所:財務省 \*3 出所:Domestic Fixed-Income Investors -2023 Greenwich Associates \*4 出所:REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む(2023年4月~2024年3月) \*5 出所:国内債はREFINITIVより及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーダークラウドを集計。外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFJ証券作成(2023年4月~2024年3月) \*6 出所:REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFJ証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む(2023年4月~2024年3月) \*7 出所:2024年3月10日 日経ヴェリタス \*8 出所:東京証券取引所/The Good Market Makers(2024年3月) \*9 出所:「Asiamoney:Best Bank Awards 2023: Japan」/Best Investment Bank、Best Bank for ESG注)三菱UFJモルガン・スタンレー証券ならびにモルガン・スタンレーMUFJ証券2社がMUFJとモルガン・スタンレーによる日本における証券合併事業(JV)として受賞 \*10 HDI-Japanが主催する「格付けベンチマーク2023年【証券業界】」の調査において、コールセンターを評価する「問合せ窓口」部門およびホームページを評価する「Webサポート」部門で最高評価となる「三つ星」を5年連続で獲得 \*11 第5回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン(環境大臣賞)において金融サービス(証券)部門で金賞を受賞(2024年2月19日発表) \*12 弊社のデジタルに対する前向きな取り組みが評価され、2022年12月に「DX認定」を取得

# ESGといえばMUMSS

金融のチカラで企業の変革を後押しし、  
企業や投資家など様々なステークホルダーをつないで  
資本市場の発展に貢献することは、弊社の大切な使命です。

弊社はMUFGグループの中核証券会社として、MUFGグループにおける全ての活動の指針である「MUFG Way」で定義するパーパス(存在意義)「世界が進むチカラになる。」を目指し、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めています。弊社の重要なステークホルダーは「お客さま」「次世代」「社会」「社員」です。この4者へのエンゲージメント活動の推進こそが、中期経営計画のスローガン「Challenge For Better Tomorrow」の実践であり、また弊社が目標とする「MUFGの中核として業界No.1のクオリティを有し、顧客満足度No.1の証券会社」の実現につながります。「ESGといえばMUMSS※」と想起されファーストコールをいただける、最も頼られる存在になりたいと考えています。

弊社は、グリーンボンドの組成・引受などお客さまへの本業を通じた取り組み、次世代への金融経済教育、ボランティアや寄付といった社会貢献活動、従業員への取り組みなどを通じて目標の実現をめざしています。



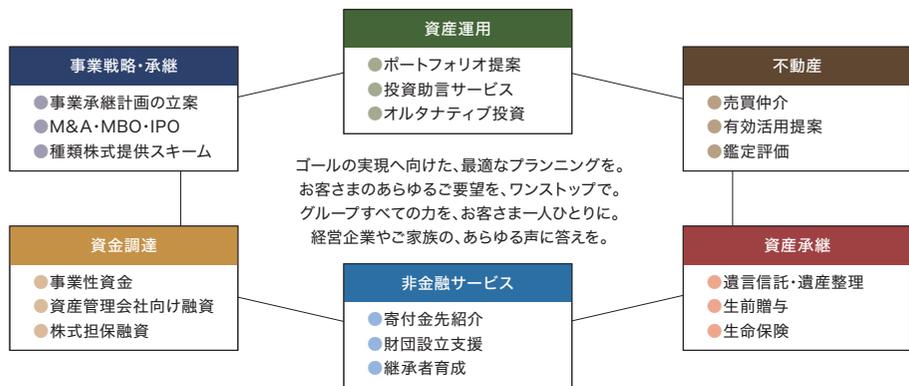
※Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securitiesの略称

## ウェルス&ミドルマーケット本部

最高のソリューションを通じて、特別なお客さまがめざす“ゴール”の実現を支えていく。それが、私たちの使命です。

### 私たちだからこそ提案できる、上質なウェルスマネジメント

富裕層個人、法人のお客さまのニーズは多様化し、またグローバル化しています。お客さまの潜在的な課題・ニーズを、十分に時間をかけてお伺いした上で、ワールドワイドなリソースやMUFGのグループ力を活かし、包括的な課題解決へと導くソリューションをご提案します。



### デジタルを活用した資産運用サポートをご提供

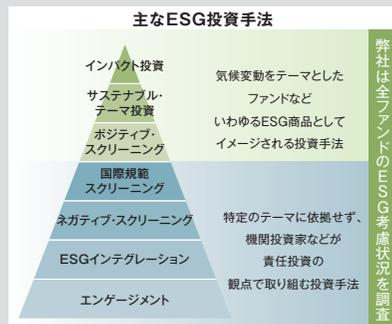
資産運用のプロであるリモートファイナンシャルアドバイザー（リモートFA）\*が、お客さまに来店いただくことなく、電話やWeb面談等のオンラインツールを活用し、資産運用をお手伝いします。また、弊社独自のサービスである「MUFGテラス・コース」では、手数料を抑えながらも、チャットやメールでプロに投資相談ができるサービスを提供しています。その他、24時間株価や市況を自動でお答えする「マーケットAI」や「ポートフォリオ分析サービス」等、豊富なデジタルサービスでお客さまの資産運用をサポートします。

\*リモートFAは弊社の登録商標です。

## ウェルス&ミドルマーケット本部によるESG推進への取り組み状況

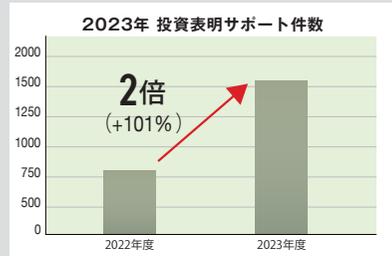
### ESGドリブンの徹底

近年、ESG投資への関心は急速に高まっています。ESG投資は、投資リターンだけでなく、環境問題解決や地域社会の発展など、社会貢献にもつながる投資手法です。弊社は、この機運を捉えるだけでなく、将来顕在化するであろう気候変動などESGリスク顕在化へ備えるべく、いわゆる「ESG関連投資商品」だけでなく、投信ラインナップすべてについて、2025年度末を目途に運用会社に各ファンドのESG考慮状況を確認し、持続可能な顧客の資産運用に貢献できるようめざします。



### ESG投資表明サポートの加速

当部門では、お客さまのSDGs取り組み貢献への支援として、ESG投資に際しての「投資表明」のサポートを行っています。ESG債券の購入を通じた投資表明に際して、他部門と協働しプレスリリースの文案作成含め丁寧なサポートを実施することで、23年度は約1,500件の投資表明獲得に繋がりました。また、債券に限らないESG関連商品の購入・出資を通じた投資表明も支援しています。



### ESG推進人材の拡大

弊社では、担当者がESG知見をもってサポートができるよう、ESG関連資格の取得を推進しています。取得者数は22年度比で200%増と大幅増加しており、スペシャリストの増加を通じ、ESGの理解・浸透を進めています。



# 法人本部

変化の激しい時代、高度化、多様化する法人のお客さまの経営課題に寄り添い、MUFGの証券サービスの総合的な窓口として、お客さまの企業価値向上に資する取り組みをサポートします。



## 資本市場を活用したソリューションのご提供

お客さまの経営課題の解決や潜在的なニーズに応えるため、グループが持つ様々な機能や強みを横断的に駆使し、お客さまがめざす姿の実現に貢献、ビジネスパートナーとしての存在感を高めます。



## 流通市場を通じた財務戦略の遂行をサポート

資産効率の向上が企業に求められる現代において、お客さまには多様な財務上の課題が存在します。日々刻々と変化するマーケット環境を捉え、グループを通じた多様な金融商品・サービスのご提供を通じて、お客さまの財務戦略の遂行をサポートします。



## 環境変化によるお客さまの多様なニーズにご対応

東証市場改革やESGエンゲージメント(建設的対話)など、市場から求められるテーマは年々移り変わっています。変化するお客さまのニーズにお応えすべく、投資家への橋渡しとなるIR活動、ストックオプション等の株式報酬制度、成長企業に対するIPOなど、MUFGの中核証券会社として幅広いサービスを提供しています。

## 法人本部による ESG 推進への取り組み状況

### 発行体・投資家双方の視点からESG推進を支援

発行体と投資家双方の視点から、ESG経営の推進を積極的に支援しています。勉強会やセミナー等を通じ、お客さま一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなサポートを提供し、高い評価を得ています。



### 幅広いESGエンゲージメント活動の展開

昨年度は数百件に及ぶESGエンゲージメント活動を行いました。今後も、更なるプレゼンス向上に向け、積極的に活動を推進していきます。

### 多角的なエンゲージメント活動でESG経営をサポート

ESGファイナンス提案活動として、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド等の法人本部主導で、発行体のESGファイナンスニーズに合わせた提案を実施しました。そのほか、ESG開示関連のアドバイス、お客さまへのエンゲージメント活動サポート、MUFGグループ他社連携、ESG発行体IRアレンジ、ESG運用商品の提案等を行っています。

### ESG 推進における事例

#### インクルージョン・ジャパン(ICJ)への協賛

ESGに特化した有望スタートアップ企業の発掘を支援し、オープンイノベーションを促進するため、大企業への情報提供活動を実施しました。

#### 弊社顧客間でのESG関連のビジネスマッチング

お客さまのニーズを的確に捉え、太陽光発電システム導入を希望するお客さまと、関連サービスを提供するお客さまとのマッチングを実現しました。

#### グループ連携によるESGスコア改善コンサルティング

機械会社の低ESGスコア改善に向け、MUFGグループ内で三菱UFJ信託銀行(MUTB)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(MURC)と協業し、迅速な現状分析とお客さまニーズ把握に基づいて改善策を提案。約2ヶ月でMUTBのコンサルティング受託に至り、お客さまのESG活動強化に貢献しました。

## 投資銀行本部

高品質なサービス提供を通じ、お客さまから信頼されるパートナーとして、総合的、継続的に事業・財務戦略の実現をお手伝いし、日本の産業界の成長、競争力強化に貢献します。

### MUFGとモルガン・スタンレーとの ジョイントベンチャーという「強み」を活かして

国内最大の金融グループであるMUFGと、世界トップクラスの投資銀行であるモルガン・スタンレー。双方の持つ経営資源、執行力、ネットワークという「強み」を活かし、お客さまの事業・資本戦略の実現をサポートします。

### M&Aアドバイザー、債券引受、株式引受で 国内トップクラスの実績

ジョイントベンチャーを形成する\*モルガン・スタンレーMUFG証券ならびにモルガン・スタンレーと協働して、国内外の主要案件におけるフィナンシャルアドバイザーや主幹事を務める等、投資銀行業務でトップクラスの実績を残しています。

\*詳しくはP6をご覧ください。

### 最適なソリューションをワンストップでご提供

株式・債券の引受、企業の合併・買収の助言、不動産証券化関連業務等の幅広いサービスをご提供します。お客さまの産業セクターのスペシャリストと、ご提供するソリューションに関するスペシャリストが連携し、ワンストップでご要望にお応えします。

M&Aアドバイザー（取引金額ベース）※1

順位	アドバイザー	取引金額（10億円）
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	7,387
2	野村	6,442
3	BofA証券株式会社	4,614
4	ゴールドマン・サックス	3,883
5	JPモルガン	3,608

債券（国内債+外債）総合シェア※2

順位	証券会社	シェア（%）
1	みずほ証券	17.8
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	16.4
3	野村證券	15.8
4	SMBC日興証券	15.1
5	大和証券	14.9

国内外エクイティ総合シェア※3

順位	証券会社	シェア（%）
1	野村	32.0
2	SMBC日興証券	14.9
3	大和証券グループ本社	13.7
4	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	13.5
5	みずほ証券	12.6

※1出所LSEG（旧 REFINITIV）より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。日本企業が関わる公表案件（含、不動産取得案件）。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む（2023年4月～2024年3月）

※2出所国内債はLSEG（旧 REFINITIV）より及び同社提供のDeal WatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等（高速道路債を含む）、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計。外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成（2023年4月～2024年3月）

※3出所LSEG（旧 REFINITIV）より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む（2023年4月～2024年3月）

## 投資銀行本部による ESG 推進への取り組み状況

### ESG関連ディールの実績

投資銀行本部は、証券会社本来の役割である「発行体と投資家をつなぐ」ことを最大限に活かし、持続可能な社会の実現に貢献するESG案件の発掘・実行に力を入れています。2023年度も、ESGの観点からも注目を集める案件の実績を積み重ねるとともに、案件のプロモーションに努めました。

### 個別案件

- 北海道電力およびアークによるオフサイトコーポレートPPAを活用した太陽光発電事業ファンドの組成
- プレグリップホールディングスによるグリーンプロジェクトボンドを活用した太陽光発電所開発案件
- 三菱マテリアルによるトランジション・リンク・ボンドの発行およびトランジション・リンク・ローンの実行



合同会社HARE晴れによる太陽光発電所の例



再生可能エネルギー事業の例（大沼地熱発電）

### エンゲージメント活動～Site Visit

発行体と投資家をつなぐエンゲージメント活動の一環として、Site Visitおよびエンゲージメントセミナーを開催してきました。

#### 大阪ガス

Carbon Neutral Research Hub見学会

#### 東京ガス

横浜テクノステーション見学会

#### 東京電力ホールディングス

柏崎刈羽原子力発電所見学会

#### 東北電力

女川原子力発電所見学会

#### JERA

碧南火力発電所見学会

※五十音順で掲載 ※2023年度実施分Site Visit一例

### 取り組みの成果

- ESG関連案件の組成・実行において、業界トップクラスの実績を築いています。
- 発行体と投資家の双方から高い評価を得ています。
- ESG投資家との関係を強化し、資金調達における選択肢を広げています。

## 市場商品本部

日本の金融市場を支えるメインプレーヤーとして、MUFUGグループの総合力、銀証間のリレーションを大きな強みに、国内外のお客さまへ、最高品質の商品・サービスをお届けします。

### 金融市場におけるトップクラスのプレゼンス

MUFUGグループの中核証券会社として、弊社は日本の市場でトップクラスの存在感を示しています。日本国債の落札順位では常に上位に名を連ねる等、金融市場への強いコミットメントにより、弊社はメインプレーヤーとして認知されています。

### 多様なニーズに応える商品供給力

弊社のウェルス&ミドルマーケット本部や海外グループ会社に加え、MUFUGグループ各社との連携体制のもと、お客さまの潜在的なニーズをいち早くとらえます。また、多様なニーズにお応えすべく、商品ラインナップを拡充しています。



日本国債の落札総額※  
(デュレーション換算値)上位10社

順位	2022年10月～2023年3月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	大和証券
3	野村証券
4	JPモルガン証券
5	ドイツ証券
6	みずほ証券
7	シティグループ証券
8	BofA証券
9	SMBC日興証券
10	ゴールドマン・サックス証券

順位	2023年4月～2023年9月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	大和証券
3	野村証券
4	シティグループ証券
5	みずほ証券
6	JPモルガン証券
7	ドイツ証券
8	SMBC日興証券
9	ゴールドマン・サックス証券
10	岡三証券

順位	2023年10月～2024年3月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	大和証券
3	野村証券
4	みずほ証券
5	JPモルガン証券
6	シティグループ証券
7	岡三証券
8	SMBC日興証券
9	ドイツ証券
10	ゴールドマン・サックス証券

※出所:財務省

## 市場商品本部による ESG 推進への取り組み状況

### 機関投資家を中心としたお客さまへのエンゲージメント

機関投資家のお客さまと緊密な連携を通じてESG投資に関する情報発信や双方向のコミュニケーションを重視した取り組みを積極的に展開しています。意見交換会、サイトビジット、投資銀行本部と共催のセミナーを通じて、ESG投資に関する最新情報や市場動向を共有し、精力的に取り組んでいます。

### ESG関連商品・スキームへの取り組み

ESGラベル付き債、投資家保有残高連動型寄付、ESG関連スタートアップ企業向けファイナンスなど、投資家ニーズに合わせた多様な商品・スキームを提供しています。

### スマートESG30シリーズ寄付:投資と社会貢献を繋ぐ架け橋

スマートESG30シリーズETNは、投資家保有残高に応じてESG課題解決に取り組むNPOに寄付を行う、革新的な投資商品です。女性が活躍できる社会の推進、脱炭素社会への移行の推進、次世代支援の各ESG課題解消に取り組む活動を支援する3団体に合計2,027,866円の寄付を行いました。

### 世界初のトランジション国債発行・流通市場活性化への貢献

GX国債マーケティング・サポーターとして、世界初のトランジション国債のIR活動に貢献してきました。今後はJGB・GXプロモーターとしてトランジションファイナンスの専門性を活かした商品企画・開発や流通市場活性化へ貢献し、ESG投資の拡大を牽引していきます。



## リサーチ部門

知見豊かな各分野のエキスパートが集結し、幅広い分野の豊富なリサーチ情報を、タイムリーにご提供。お客さまの様々なご要望にお応えします。

### 業界トップクラスのアナリストたちが 多様なニーズに対応

マクロ経済分析、為替・金利市場分析、クレジット分析やESG調査等、幅広い分野をカバー。付加価値の高い情報や投資戦略をタイムリーにご提供します。

### グローバルな投資情報を豊富に取り揃え、わかりやすく発信

国内外の投資戦略はもちろん、マクロ動向までカバーできる体制を整えています。産業別、銘柄別、テーマ別レポートのご提供に加え、対面・非対面セミナー等のイベント、各種情報提供サービスを展開しています。



GMAPでは、グローバル市場の見通しに基づき資産配分を決定する投資戦略を提供し、長期投資を原則としながらも、短期的に投資魅力のある投資機会について、情報提供を行います。

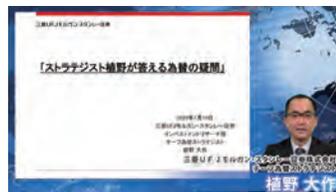
### 債券・為替アナリスト エコノミストランキング※1

■会社別		
証券会社	順位	
三菱UFJフィナンシャル・グループ※2	5	

■部門別		
業界	順位	氏名
為替アナリスト	2	植野 大作
債券アナリスト	5	六車 治美
債券アナリスト	6	井上 健太
クレジットアナリスト	6	安藤 信彦
クレジットアナリスト	9	下松 慈明

※1 出所:2024年3月10日 日経ヴェリタス(ランキング10位以上を記載)

※2 グループの証券、銀行、総研等を含めて集計



弊社のお客さま向けに、インターネット経由で投資情報を発信しています。

\*機関投資家向けの日本株に関するリサーチ業務は、2024年1月1日、モルガン・スタンレーMUFG証券に機能統合いたしました。

## リサーチ部門による ESG 推進への取り組み状況

債券を対象としたESG専門ストラテジストによる、ESGの時流を捉えたレポート執筆やセミナー等を実施しています。

### レポート事例

2023/08/21 クレジット・ストラテジー

### 水素基本戦略が示す脱炭素化の道筋

2023年6月6日、日本政府は水素基本戦略を6年ぶりに改訂しました。本レポートでは、この改訂内容を踏まえ、水素が脱炭素化に向けて果たす役割と、ファイナンス面における活用可能性についてまとめています。



2023/12/14 クレジット・ストラテジー

### 原子力発電のサステナブル・ファイナンス におけるトーン変化

2023年12月2日、COP28において、日本を含む20ヶ国超の政府が、2050年までに原子力発電の設備容量を3倍とする宣言を発表しました。この宣言がサステナブル・ファイナンスにおける原子力発電に対する見方を変える可能性についてレポートしています。

2024/01/25 クレジット・ストラテジー

### 2023年の国内サステナブル債市場レビューと2024年の展望

2023年の国内サステナブル債市場の状況と2024年の展望について、発行規模や資金使途などの観点から分析しています。

## ESG施策①

## スタートアップ伴走プログラム(JIVL) / 社員ESGネットワーク(ESF)



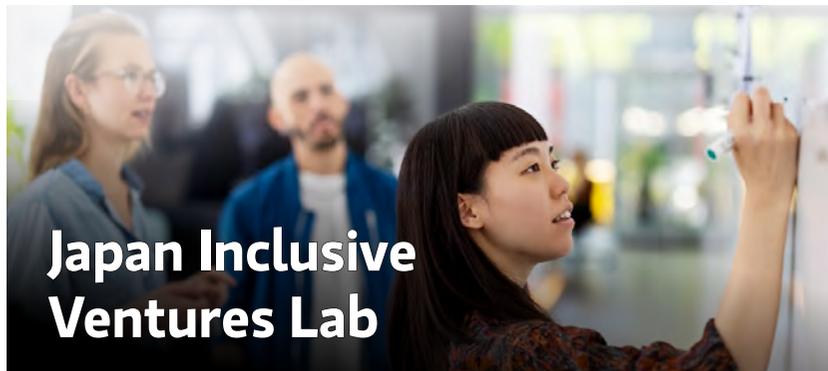
## 女性など多様な経営陣が運営するスタートアップに伴走

弊社は、MUFGの戦略的パートナーであるモルガン・スタンレーが米国と、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域で展開している「Morgan Stanley Inclusive Ventures Lab」を活用したスタートアップ伴走プログラム「Japan Inclusive Ventures Lab」(JIVL)を開始いたします。JIVLは、MUFGとモルガン・スタンレーの強みを生かし、日本における世界基準のスタートアップ伴走をめざしています。

## Our Mission

JIVLは女性や多様なバックグラウンドをもつ創業者や経営陣により設立または運営される、日本のスタートアップ企業の事業構築の促進を目的とし、以下の3つのミッションに基づくカスタマイズされたプログラムの提供と出資を通じて、Born Globalで創業初期から世界市場をターゲットにするスタートアップを支援します。

1. 日本においてグローバルなスタートアップエコシステムを構築
2. 経済社会における構造変革とESG課題の解決を実践
3. 日本の持続的成長に貢献



## カスタマイズされたプログラム

## カリキュラム(例)

## ビジネス戦略 資金調達

- バリュー・プロポジション(顧客価値)
- ピッチ作成・ストーリー作成
- 資金調達の基本、収益モデル
- 投資家コミュニケーション

## 人材育成

- 人材採用・育成、組織構築
- Thinking like a CxO(複数回)
- 起業家のメンタルヘルス
- ストックオプション(株式報酬)

## Demo Day

6か月間のプログラムの締めくくりとして、各企業が海外(ニューヨークまたはロンドン)および日本国内にて潜在的な投資家と顧客に対してプレゼンテーションを行います。

## 外部メンター

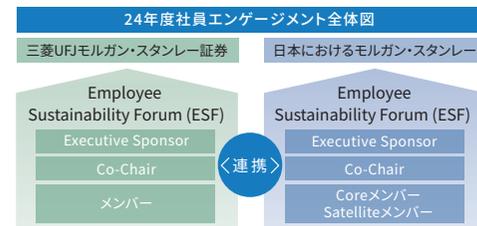
参加企業と定期的にコミュニケーションをとり、ビジネスの成長と拡大を支援するための助言や相談の機会を提供します。

## 社員主導のネットワークを立ち上げ

ESGに関する理解深化や意識向上に加え、サステナビリティ人材の育成を中心としたすそ野拡大をめざして、社員主導でESGを推進するネットワーク(Employee Sustainability Forum:ESF)を設立しました。

## 活動内容

- ・社内イベントやセミナーの企画立案
- ・モルガン・スタンレーの日本のESFとの連携
- ・外部視察、ワークショップへの参加



## ESG施策② 次世代への取り組み



### 金融リテラシー向上をめざして

弊社は、若年層の金融リテラシーの向上に取り組んでいます。小学生、中学生、大学生に向けて、それぞれの年代に応じた金融教育プログラムを実施しています。社会で自立する力や社会と関わる力の育成を支援する金融教育の普及を通して、健全で質の高い金融商品の提供促進や、金融資産の有効活用、公正で持続可能な社会の実現をめざしています。また、社員のファシリテーションスキル向上を目的として、弊社の人材育成研修プログラムとしても金融経済プログラムを導入し、講師を派遣しています。

#### 小学生向けプログラム

### 「お金の力-VALUE」

カードを活用し、お金の機能を体験的に学ぶプログラムです。お金の役割や大切さ、そしてお金の使い方について学び、自分自身を取り巻く社会的な状況や日常生活とのつながりを意識したうえで、物事の価値とお金について主体的に考えることができますようになります。



2022年より  
57校で実施 ▶ 延べ **5,550人** が参加

Voice



今まであまり考えたことがなかったので、もっとお金について知りたくなりました。お金について学んだことを家族と話してみようと思いました。

#### 中学・高校生向けプログラム

### 「株の力」 教室で体験する インターンシップ

「株」の仕組みや機能について、クイズやゲームなどのアクティビティを通して、体験的に学び、その成果を株のチカラを伝える新聞広告として表現します。社会や経済の課題などに広く関心をもち、その課題に向けて主体的に考えるチカラを養います。



2014年より  
109校で実施 ▶ 延べ **7,350人** が参加

Voice



株について何も知らなかったですが、株が経済や社会に重要な役割を果たしていることを知り、興味が湧きました。

#### 大学生向けプログラム

### 「株の力 for 大学生」

弊社社員から株式や証券市場・証券会社の機能や役割について学んだ後、SDGsの17の開発目標（ゴール）の中から、自分たちが達成したい目標を選び、株の力や証券機能を使って解決策を考え、グループ毎に発表します。社会人として自立するための能力の確立をめざします。



2019年より  
18校で実施 ▶ 延べ **500人** が参加

Voice



主体的な取り組みを通じて株式や証券会社の機能や役割について学ぶことができました。また、社会課題を学び解決策を考えるきっかけを得ることができ、有意義でした。

#### 中学生・高校生向け新プログラムの開発

##### 中学生向けプログラム

### 「お金の力-WILL」

「自分にとってお金とは?」という本質のかつ重要な問いに向き合うプログラムです。過去の偉人や実在する大人の多様な「お金に対する考え」に触れながら、「お金と人生の関係性」に気づき、自分の「お金に対する考え」を探索します。

2023年より  
2校で実施 ▶ 延べ **150人** が参加

##### 高校生向けプログラム

### 「お金の力-CHOICE」

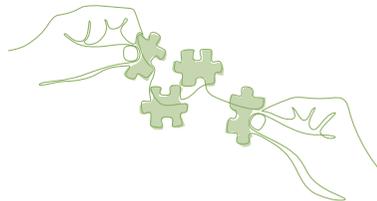
お金の使い方による人生と社会に対する影響をゲームを通して学び、「買う」「貯める」「増やす」「譲る」という選択肢を手掛かりに「お金の使い方」を考えるプログラムです。人生でのお金の使い方を主体的、探究的に考えることが狙いです。

2023年より  
4校で実施 ▶ 延べ **350人** が参加

#### 教材



## ESG施策③ DEIの推進



弊社は、すべての社員が持てる力を十分に発揮し、自分らしく活躍できる環境を整えることで、組織のパフォーマンスを最大化するとともに、持続的な成長と、よりよい社会の実現に貢献することをめざしています。「多様な社員一人ひとりが、それぞれの違いを尊重・考慮し、認め活かし合う」組織の実現に向け、DEI(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)推進\*に関するさまざまな取り組みを行っています。

\*DEI(Diversity,Equity&Inclusion)推進とは、「I&D(多様性の受容)」に「Equityエクイティ(公平・公正)」の観点を取り入れることで、個々の違いを受け入れ、考慮し、一人ひとりが力を発揮できる環境をつくることです

### ジェンダーギャップの解消

女性社員がより一層活躍できるよう、階層別のメンタリングプログラム・研修を実施、多様な社員・キャリアパスを知る機会を提供するなど、自律的キャリア形成の支援を行っています。加えて、「女性特有の健康課題支援」に関する取り組みも開始しています。また、キャリア形成には上司のサポートが欠かせないことから、全部室店長を対象に女性登用の実践に向けたプログラムを実施しています。



### 仕事と生活の両立の実現

育児や介護、不妊治療をしながらでも、仕事との両立ができるよう、各種支援制度の充実化に取り組み、研修・セミナーの実施や冊子の発行による継続的な情報提供を行っています。男性の育児休業は、対象者全員の取得を会社方針として推進しており、2020年度より4年連続で取得率100%※を達成しています。

※当該年度育児取得期限の男性社員全員が取得したものと見なされています。

厚生労働省  
プラチナくるみん



「子育てサポート企業」として高い水準の取り組みを行った企業ができる。厚生労働大臣の特例認定(プラチナくるみん認定)を取得(2019年より継続)

厚生労働省  
トモニン



仕事と介護の両立支援

仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組んでいる企業の証「トモニン」を取得

### ダイバーシティ推進専門誌「evolution」を発行

弊社のDEI推進に関する活動をすべて掲載し、社内外に配信しています。



[2024年版 PDF]



### 誰もが活躍する職場づくり

多様なバックグラウンドを持つ社員が、属性やアイデンティティに関わらず活躍できる職場をめざし、働く環境の整備や、ともに働く社員の理解を深めるための取り組みを行っています。

任意団体 work with Pride  
PRIDE指標「ゴールド」



LGBTQに関する企業の取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を4年連続受賞(2023年)



役職員の健康増進に向け、視覚に障がいや有する社員が、ヘルスキーパー(あん摩マッサージ指圧師の国家資格者)として施術(2022年本社にマッサージ室を開設)

### 誰もが働きやすい職場環境へ

全社員対象研修の実施等により、多様な人材が活躍する組織づくりを各自が考える機会を提供し、「心理的安全性」のあるチームを作ることや個々の違いを受け入れ、考慮する「エクイティ」の考え方の重要性を伝えています。また、2024年度より、生理および更年期障害により就業が著しく困難な場合に利用可能な「ヘルスケア休暇」や、障害者手帳を有する社員が障がいによる通院や治療等を行う場合に利用可能な「障がい者サポート休暇」を導入し、誰もが安心して働ける、インクルーシブな就業環境の実現をめざしています。



2024年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人2024」(大規模法人部門)に認定

# コーポレート・ガバナンス体制

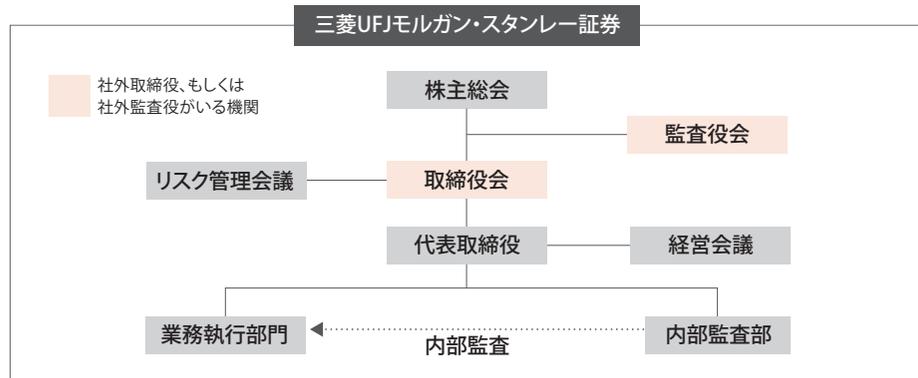
## 取締役会・監査役会

取締役15名※1のうち3名が社外取締役であり、取締役会の活性化と経営の透明性向上を図っています。また、監査役会を設置し、監査役4名(うち社外監査役2名)が取締役の職務執行の適正性について監査しています。※2

※1 取締役15名のうち3名が女性取締役です。 ※2 2024年8月1日現在

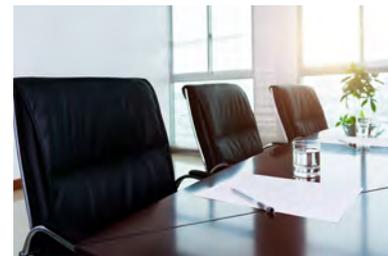
## 主要会議

取締役会が決定した基本方針に基づき、「経営会議」が経営全般や業務執行に関する重要事項を、「リスク管理会議」がリスク管理全般に関する重要事項を審議・決議することによって、意思決定の迅速化を図っています。



## コンプライアンス

経営会議の諮問機関として社外弁護士もメンバーとした「コンプライアンス委員会」を設置し、役職員が一体となりコンプライアンスの徹底に取り組んでいます。



## 金融犯罪・反社会的勢力の排除への取り組み

弊社サービスを介したマネー・ローンダリング等の金融犯罪や、贈収賄行為への加担防止に努め、また反社会的勢力に対し、経営トップ以下組織全体で、警察・弁護士等と連携し、毅然とした態度で対応しています。



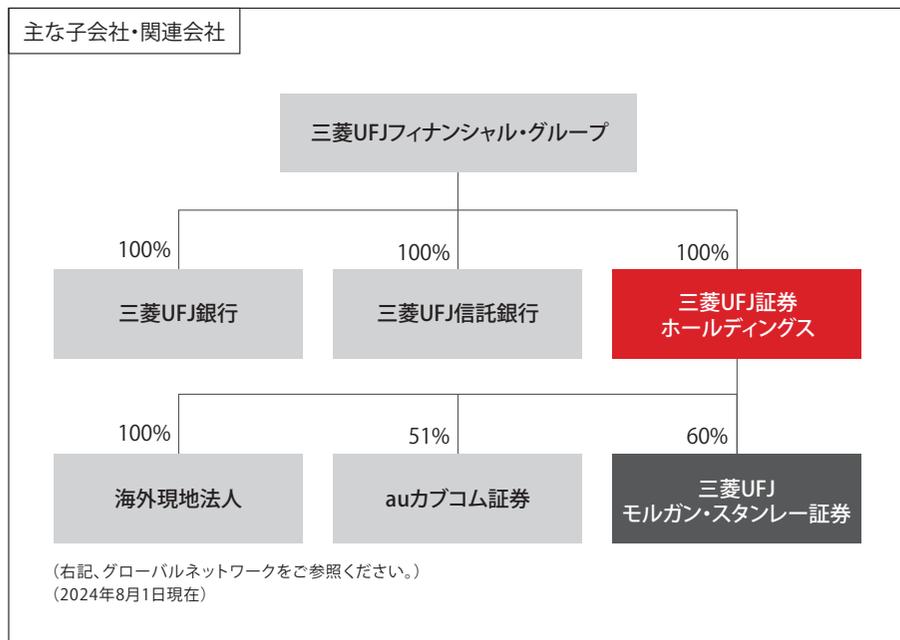
## 情報セキュリティ管理

弊社は個人情報保護方針の遵守やシステム面における監視態勢の強化等を通じ、お客さま情報の保護に万全を尽くしています。



# 三菱UFJ証券ホールディングスについて

三菱UFJ証券ホールディングスは、  
三菱UFJモルガン・スタンレー証券をはじめとする  
MUFGグループの主な証券・投資銀行業務子会社の  
経営管理・統括を行う証券持株会社です。



## グローバルネットワーク

ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポール等主要マーケットにおける現地法人等と連携し、  
グローバルネットワークを形成しています。



(2024年8月1日現在)

※MUFG証券ホールディングスアメリカは、米国ブルデンシャル規制に伴う資本異動により、2016年7月1日付で三菱UFJ証券ホールディングスの100%子会社から米州MUFGホールディングスコーポレーションの100%子会社へ移行しましたが、三菱UFJ証券ホールディングス傘下の海外証券子会社等と共にグローバルな業務運営を行っています。

# Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities

<https://www.sc.mufg.jp>

## 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

加入協会 日本証券業協会・一般社団法人 日本投資顧問業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会・  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会・一般社団法人 日本STO協会



Corporate site



YouTube



Facebook